

庁議の概要

開催日 令和8年1月5日（月）

◎項 目

1 第4四半期の重要な取り組み

◎内容

1 第4四半期の重要な取り組み【各部局】

○文化生活部長

よさこい高知文化祭2026の開催に向けた取り組みの推進について、引き続き大会の広報、気運醸成に係る取り組みを進める。1月18日には、広報大使の方々にお集まりいただきプレイベントを開催。

地域の国際化の推進（多文化共生施策の推進）について、多文化共生推進プラン（仮称）の策定に向け調整中。関係部局や有識者会議メンバーへの意見照会及びパブリックコメントを実施し、3月末にプランの策定を予定。

公立大学法人への支援について、永国寺キャンパスに高知工科大学データ&イノベーション学群の新校舎を建設中。3月28日に、副知事にご出席をいただき落成式を開催。

年始の交通安全運動について、現在、高齢者の交通死亡事故が多発している。12月26日から12月31日末までに4件の死亡事故が発生。高知県交通安全推進県民会議において、15日間に高齢者の交通死亡事故が概ね5件発生した場合、警報を発令すると定められており、1月9日までにあと1件発生すると、13年ぶりの警報発令となる。各市町村、交通安全協会及び県警とも連携し広報等に努めている。

直近では、17時台に80代の方が、横断歩道のない場所で道路を渡り、はねられる事故が発生している状況。運転される際は気をつけていただきたい。

○林業振興・環境部長

竹資源の利用拡大について、竹資源の利用及び供給の拡大に向け市町村や生産者との調整を積極的に行う。併せて、竹林の整備や活用促進に向けた研修会を開催予定。

環境に配慮した新たな木材流通の促進について、土佐材認証制度の開始に向け、関係者との協議やシステム、制度を固めていく。

大屋根リング木材の活用について、2月に木材譲渡契約を締結予定。引き続き関係各課と調整を進めていく。

環境基本計画、地球温暖化対策実行計画について、改定作業を進めている。有識者に意見をいただき、2月のパブコメ実施後に公表予定。

第2期脱炭素社会推進アクションプランについて、上記計画と連動し、バージョンアップを行う。

新たなオフセットクレジットの創出について、12月に審査委員会を開催し候補者を決定。1月に候補者との協定締結に向けた協議を行う。

新たな管理型最終処分場について、埋め立て地内で発生した地盤の緩みへの対策に

に伴い、令和9年9月に予定していた完成時期の遅れや総事業費の増額の可能性がある。施工業者と工法を精査し、できる限り圧縮していきたい。

全国植樹祭開催に向けた着実な準備に向け、3月に第2回実行委員会総会を開催。基本計画や大会テーマ、シンボルの決定及び式典を中継するサテライト会場の決定を行う。

○土木部長

南海トラフ地震対策の推進として、孤立集落の早期解消に向けたアクセスルートを検討。全国最多となる900以上の孤立集落の大半は道路啓開ルートからさらに町村道を通るルートである。そのルートを早期に開設していくための検討を進めいく。

12月補正予算の早期発注について、施工時期の平準化に配慮しながら進めていく。

高規格道路の要望活動について、1月21日に財務省、国交省等に対して、知事及び各市町村長と要望を行う。

物価高騰等を踏まえた発注標準額の見直しについて、令和8年度から見直しが始めるように取り組む。

○副知事

今年も意思疎通を図りながら進めていきたいと思うので、気軽に情報共有や相談等があれば願います。

○知事

昨年は「あんばん」の放送や万博の開催があり、推進力がついてきていると思う。特に「あんばん」は年賀状でもいい話を多くいただいた。高知のいい印象がついてきているので、その勢いをしっかりと持続して、よさこい高知文化祭2026とのタイアップによる観光誘客の努力をお願いします。

中長期の人口減少の問題について、1つめは若者の所得向上のために付加価値の高い経済構造への転換を進めていきたい。昨年の所得向上プロジェクトの経営戦略モデルの展開と併せて、県立文化施設等についても、高付加価値のサービスを提供するために県庁が先頭に立って変えていくことが大事だと思う。挑戦するために、生まれ変わるための勇気、覚悟をもってやることを身をもって示したいので協力をお願いします。

2つ目は、「人への投資」としての広い意味での働き方改革。働きやすい環境を作り、家庭との両立がしやすい環境を作ることが、若い方々を高知県に呼び込むための大事な要素になっていると思うので、長時間労働是正の取り組み等、県庁が率先して頑張っていきたい。

4Sプロジェクトについて、消防、高校の再編、地域公共交通及び医療関係等多くの課題がある。今までのやり方を変えることについて、各方面で不満があるかと思うが、人口減少対策のラストチャンスであるという思いで一生懸命取り組みたいと思うので、関係者の方々と調整をお願いします。

課題山積ではあるが、県庁の中の風通しを良くして、県民の皆さんとの関係構築にこれまで以上に努力していただきたい。

キャッチフレーズは「愛する高知が生き残るためには、生まれ変わる勇気を発揮す

ること」。それには県庁が先頭に立って進める必要があるので、ぜひ前向きに取り組んでいただきたい。